



10人のKOMMA座談会

一人ひとり、それぞれの『巨摩スタイル』



座談会出席者

3年	A…前生徒会長・バドミントン部	B…前生徒会副会長・バドミントン部
	C…サッカー部	D…吹奏楽部
	E…陸上部	F…バスケットボール部
2年	G…生徒会長・サッカー部	H…生徒会副会長・書道同好会
1年	I…生徒会役員	J…茶道部

司会…最後に後輩の皆さんへのアドバイスをお願いします。

A…進路行事に積極的に参加することで自分の進路が見えてきます。また本音で話ができる先生や友達との関係を大切に育てること。後は「青春を送る」(笑)ってことです！

B…いろんな経験をして、一生懸命に取り組むことだと思えます。一見忙しくて充実しているように見えても、どんな気持ちで取り組んでいるかで価値が決まると思います。全力で取り組んだことは誇りにもなります。学校生活を全力で頑張ってください。

C…進路決定時には1年生の時と同じように大切な瞬間になります。3年間しかない高校生活、今の一瞬一瞬を大切にそして楽しんでください。

D…1年生からの積み重ねが大切です。学習の大切さは後になってわかります。部活動に対しては仲間と同じ目標に向かってがむしゃらに努力し、時にぶつかり合ったりという、今しかできない目の前のことを全力で頑張ってください。

E…大会の前や定期試験の前に無理をして失敗することもありました。やらなくてはならないことにしっかりと優先順位をつけて、できることをしっかりとやる、やると決めたことは必ずやるという心構えが大切です。

F…学習や部活動で忙しく毎日余裕がないと感じる時もありました。3年生になると進路実現で本当に忙しくなるので、遊びも含め様々な経験をしておくのがよいと思います。

司会…ありがとうございました。それぞれの『巨摩スタイル』でした。

司会…卒業を控えた今、巨摩高校を選んで良かったと思うことはどのようなことですか？

A…進路決定の際に、先生方が親身になって一緒に考えてくださったことです。また、同じ中学校出身者が少なかつた私が生徒会長を務めることができたのは、先生方やたくさんの仲間を支えられたことだったので、巨摩高校に来て本当に良かったと思っています。

B…十人十色のいろんな仲間たちと関わることができたことです。勉強に頑張る人、スポーツに頑張る人、いつも全力の人、様々な人たちと知り合い友達になることができました。

C…サッカー部に入りたくてここへ来て、部活での成果が出たときも出ないときも先生方や大勢の友達に支えられました。友達に恵まれ、たくさんの人と出会えました。

D…部活の仲間に出会えたことです。つらいこともありましたが乗り越えてくれたのも喜怒哀楽を一番近くで共感してくれた仲間たちがいたからで、副部長として頑張ることができました。

E…部活動のために巨摩高を選びましたが、進路も希望通りの大学に合格できました。部活だけではなく勉強も両立できる環境と雰囲気の中、自分も自然と文武両道を実現する気持ちになりました。

F…SSHの行事で様々な研究施設の見学や大学の先生の講義を体験できました。難しい内容もありましたが多くの刺激を受け、進路決定の道筋ができました。部活動も3年間やり遂げることができ、成長できたと思います。

司会…後輩の皆さんから3年生に聞きたいことを質問してください。

A…やりたいことがありすぎて決めきれなくて、最終的には3年生の夏休み後でした。

I…まだ進路が決まっていません。先輩たちはいつ頃進路を決めましたか？

D…勉強しろと言われるのが嫌なので(一回、わかる(笑))、言われる前にやってみようと思って頑張りました。部活動と勉強の両立には頑張ることの意味を見いだすことが大事だと思います。目標をしっかり持つようしていました。

E…まだ進路が決まっています。先輩たちはいつ頃進路を決めましたか？

C…部活を終えた帰宅後は疲れるし勉強も大変だと思いましたが、どうしていいかわからなかったら、(一回、普通じゃあ！)とすぐ勉強に取りかかっていたと思います。ゆっくりすると眠くなってしまうので。

G…帰宅してすぐ食事して風呂に入って(一回、普通じゃあ！)とすぐ勉強に取りかかっていたと思います。ゆっくりすると眠くなってしまうので。

E…翌日の小テストの学習など急ぐものから優先順位をつけて学習しました。これだけは絶対にやろうというものを決めて、短い時間を有効に使うようにしました。

D…勉強しろと言われるのが嫌なので(一回、わかる(笑))、言われる前にやってみようと思って頑張りました。部活動と勉強の両立には頑張ることの意味を見いだすことが大事だと思います。目標をしっかり持つようしていました。

わくわくサイエンス in 巨摩高

平成30年12月15日(土)、第7回「わくわくサイエンス in 巨摩高」が開催されました。110名の児童生徒、64名の保護者が、「巨大シャボン玉に挑戦」「身近なものでスライムを作ろう」など16の実験に参加しました。事後アンケートで、児童生徒からは理科実験が楽しかったという感想が多く寄せられました。また、児童生徒に実験を理解してもらおうとする本校生徒の一生懸命さにも、好印象を持ってもらうことができました。

絆と学びを深めた4日間 修学旅行 in 沖縄

行ってきました!!

平和のありがたさ 2年6組 大久保 優太

私たち2年生は、4日間の修学旅行で沖縄を訪れて、仲間たちとたくさんの思い出を作ってきました。その中で私が一番印象に残ったのは、1日目で沖縄戦を実際に体験した方の講話でした。その方が体験した70年前の悲劇は、私たちの想像をはるかに越えるものでした。沖縄の方言で「ガマ」と呼ばれる自然洞窟を移動しながら生活していたこと、そこでは水をくむために地上に出ると、アメリカ軍の攻撃を受けるため、命がけだったこと、家族、親戚、友だちを数多く失ったこと、戦争をまったく知らない私たちにとって、衝撃的な内容でした。

2日目にはクラスでひめゆり平和祈念資料館と糸数壕を訪れました。見学を通して私たち2年生は、私たちのこどもや孫の世代までも戦争を知らずに済むよう、平和な時代を築いていこうという誓いを新たにしました。

テーマは『Come on, baby KOMAフェス☆!!』

巨摩フェスタ

1月26日(土)、文化局各部の合同発表会である巨摩フェスタが、本校進修館を会場に開催されました。展示や発表でどの部も日頃の成果が十分に表れており、来場した約200名の小中学生、保護者、地域の方に楽しい時間を過ごしてもらうことができました。また、本校オリジナル商品の「こまねきねこパン」も大好評でした。

電子オルガンで人々を笑顔に ユネスコスクール活動報告

日向結衣さんは、ボランティア活動として夏休みなどを利用していろいろな施設を慰問し、特技の電子オルガンの演奏を行って来ました。3年間を通しユネスコESDパスポートで30ボランのボランティア活動を実践し、12月16日に、その活動を甲府市市民総合会館で報告しました。音楽療法士をめざして卒業後は県外に進学しますが、高校在学中のボランティア活動での経験を今後も生かして努力していきたいと本人は話していました。

